

地域計画

策定年月日	令和7年3月17日
更新年月日	()
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	鹿屋市 46203
地域名 (地域内農業集落名)	上百引地区 (一番郷・二番郷・西原・愛宕・本町・和泉ヶ野・諏訪・檜久保・白別府・歌丸・宇都・名主段・風呂段・堂平・坂宮・上平房・岳野)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	300.7 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	298.5 ha
② 田の面積	148.5 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	150.0 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	104.0 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0.0 ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

当地区は畜産農家(肉用牛、養豚、養鶏)が多く、特に肉用牛の繁殖農家が大半を占めており、続いて露地野菜や施設野菜の若手農家も育っている。畜産農家等においては補助事業等を利用し機械の大型化が図られている。施設ではスプレー菊の生産が行われていたがピーマンへの転換が進んでいる。露地野菜においても、ゴボウの作付け等が盛んであるが、連作障害を避けるため農地を必要としている。

ほ場整備実施地区では、登記手続き中の地区もあり、登記が進んでいないため農地の貸し借りが進んでいない地域もある。

人口減少に伴い農家人口も減少しているため、担い手不足による耕作放棄地も増加の傾向が見られる。また、耕作放棄地を起点とした鳥獣被害も見られる。

【地域の基礎データ】

農業従事者の平均年齢:65.4歳

農業者:84人(うち50歳代以下15人)、経営体数:48(うち法人経営体3)

中山間地域等直接支払交付金協定集落:1集落

主な畜産業:肉用牛(繁殖・肥育)、養豚、養鶏

主な作物:飼料作物、施設園芸(ピーマン、スプレーグク)、露地野菜(ゴボウ、里芋、大根、甘藷(でん粉、焼酎、青果、加工用))

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

畜産農家が多いことから飼料作物の作付が多く、水田では転作作物としてWCSや飼料作物を推奨している。また、露地野菜として甘藷やゴボウの作付けが多いが連作障害防止のために畜産農家と連携し、定期的な農地交換を推進していく。農振農用地区域内の農地及びその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とし、その区域と住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
中核的な担い手への農地集積を加速させ、農地の大区画化による大型農業機械の導入、スマート農業の推進など、効率的で生産性の高い農業生産基盤を確立するとともに、農地を適切に利用する多様な担い手の確保・育成に取り組む。			
(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	14.7	%	将来の目標とする集積率
			80
			%
(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標			
農地中間管理事業等を活用し、中核的な担い手の農地の集約化を推進する。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組 農地中間管理機構を活用して、認定農業者や新規就農者を中心に団地面積の拡大を進めるとともに、担い手への農地集積を進める。
(2)農地中間管理機構の活用方法 地域全体の農地を農地中間管理機構に貸し付け、担い手の経営意向を斟酌し、段階的に集約化を進める。
(3)基盤整備事業への取組 地域の合意のもとに基盤整備が必要な場合は、農地中間管理機構関連農地整備事業等を活用した整備を検討する。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組 市全体の方針として、研修機能の強化など市農業公社の更なる充実により新規就農者の研修受入体制を強化し、本市における農業の中核的な担い手となる新規就農者や後継者の育成を推進する。また、新規就農者としてのU・I・Jターナー等を積極的に募集するとともに、集落営農組織や農福連携など多様な事業体の参画を推進する。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組 農作業受託組織の育成を図り、JA等と連携した受委託を推進する。

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください）

☒ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④畑地化・輸出等	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☒ ⑦保全・管理等	☒ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携等	☐ ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ①関係機関等との連携による捕獲活動の強化や忌避作物の栽培普及による鳥獣被害の防止を推進する。
⑦日本型直接支払交付金を活用した地域の共同活動及び集落営農活動を支援する。
⑧担い手の営農や農業を担う者の利用状況などを考慮し、出荷・調製施設など農業用施設の集約化を進める。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状		10年後 (目標年度:令和 16 年度)			
		経営作目等	経営面積	経営作目等	経営面積	目標地図 上の表示	備考
	別紙1のとおり		ha		ha		
計	90経営体		113.5 ha		80.8 ha		

- 注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。
- 注2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。
- 注3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。
- 注4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。
- 注5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

- 注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。
- 注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。
- 注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

	属性	農業を担う者 (氏名・名称) ※非公表	現状		10年後 (目標年度:令和 16 年度)			
			経営作目等	経営面積	経営作目等	経営面積	目標地図上の表示	備考
1	認農			ha		ha	赤	
2	農協			ha		ha	青	
3	利用者			ha		ha	緑	
4	認農			ha		ha	緑	
5	認農			ha		ha	赤	
6	利用者			ha		ha	緑	
7	利用者			ha		ha	緑	
8	利用者			ha		ha	青	
9	利用者			ha		ha	青	
10	認農			ha		ha	青	
11	認農			ha		ha	緑	
12	認農			ha		ha	赤	
13	利用者			ha		ha	青	
14	利用者			ha		ha	青	
15	認農			ha		ha	赤	
16	認就			ha		ha	緑	
17	認農			ha		ha	緑	
18	利用者			ha		ha	青	
19	利用者			ha		ha	青	
20	認農			ha		ha	緑	
21	利用者			ha		ha	赤	
22	利用者			ha		ha	緑	
23	利用者			ha		ha	青	
24	利用者			ha		ha	緑	
25	利用者			ha		ha	青	
26	認農			ha		ha	緑	
27	認農			ha		ha	緑	
28	認農			ha		ha	緑	
29	利用者			ha		ha	緑	
30	利用者			ha		ha	緑	
31	利用者			ha		ha	緑	
32	利用者			ha		ha	青	
33	認農			ha		ha	緑	
34	認農			ha		ha	赤	
35	利用者			ha		ha	緑	
36	利用者			ha		ha	赤	
37	利用者			ha		ha	赤	
38	認農			ha		ha	緑	
39	利用者			ha		ha	赤	
40	利用者			ha		ha	緑	
41	認農			ha		ha	青	
42	認農			ha		ha	緑	
43	利用者			ha		ha	赤	
44	認農			ha		ha	赤	
45	利用者			ha		ha	緑	
46	利用者			ha		ha	青	
47	利用者			ha		ha	青	
48	利用者			ha		ha	青	
49	利用者			ha		ha	緑	
50	利用者			ha		ha	赤	
51	認農			ha		ha	緑	
52	認農			ha		ha	赤	

53	利用者			ha		ha	緑	
54	利用者			ha		ha	青	
55	認農			ha		ha	赤	
56	利用者			ha		ha	青	
57	利用者			ha		ha	赤	
58	利用者			ha		ha	緑	
59	認農			ha		ha	赤	
60	利用者			ha		ha	赤	
61	認農			ha		ha	緑	
62	利用者			ha		ha	緑	
63	利用者			ha		ha	緑	
64	利用者			ha		ha	青	
65	利用者			ha		ha	緑	
66	認農			ha		ha	赤	
67	利用者			ha		ha	緑	
68	利用者			ha		ha	緑	
69	利用者			ha		ha	青	
70	利用者			ha		ha	赤	
71	利用者			ha		ha	青	
72	利用者			ha		ha	緑	
73	認農			ha		ha	緑	
74	利用者			ha		ha	青	
75	認農			ha		ha	赤	
76	利用者			ha		ha	赤	
77	利用者			ha		ha	青	
78	利用者			ha		ha	青	
79	利用者			ha		ha	赤	
80	利用者			ha		ha	青	
81	利用者			ha		ha	緑	
82	利用者			ha		ha	緑	
83	認農			ha		ha	緑	
84	利用者			ha		ha	赤	
85	認農			ha		ha	赤	
86	利用者			ha		ha	青	
87	利用者			ha		ha	赤	
88	利用者			ha		ha	緑	
89	利用者			ha		ha	赤	
90	利用者			ha		ha	青	